

領域：	ビジネス、グローバル		
テーマ：	ケースで学ぶ経営学～組織・イノベーション編～		
担当者名：	猪股優史		
開講時期：	後期：月曜 4・5・6限	募集定員：	30名
内容：	経営組織論やイノベーション論の概念やフレームワークを用いて、実際の企業事例を分析する方法を学習します。講義内で紹介する理論と教科書のケースを併用して事例の分析を体験した上で、自ら身近な企業事例を分析してもらいます。		
到達目標：	企業の経営戦略や組織設計を分析する視点を獲得すること。 理論やフレームワークを活用した戦略構築や組織設計に取り組むこと。		
講義方法：	組織論やイノベーション論に対する受講者の理解の程度に応じて、講義も行いつつ、指定する教科書のケースのポイントや課題、課題に対する打ち手を、追加的な調査も含めて検討するグループワークが中心となります。毎回の講義内でグループごとにプレゼンテーションを行ってもらいます。また、実務家をゲストスピーカーとして招くこともあります。最終的な成果物としては、グループごとに身近な企業事例について組織論やイノベーション論の観点から分析した発表を行ってもらいます。		
準備学習：	教科書の各章を予習として読んでくること。		
成績評価：	授業に対する貢献、出席、プレゼンテーションの質で判断。最終レポートを課す予定。		
欠席基準：	授業実施回数の3分の1（端数切り捨て）以上を欠席した場合は、単位習得ができません。		
講義構成：	第1回～第5回：マイクロ組織論 第6回～第10回：マクロ組織論 第11回～第15回：イノベーション論		
履修条件：	特になし		
推奨科目：	特になし		
選考方法：	定員を超えた応募があった場合には抽選となります。		
備考：	教科書として『ケース・スタディ 日本企業事例集』ハーバード・ビジネス・スクール、2010年、ダイヤモンド社（予定）を用います。実際の企業事例と経営学の諸理論との間の知的往復運動をテキストを通して体験してもらった上で、皆さんの身近な事例の分析に挑戦してもらいます。実際の企業の戦略や組織について興味を持っている学生を歓迎します。大学生として生活している範囲においても、企業の活動に触れるシーンは数多くあります。そうしたシーンにおいて日頃から疑問を感じ、自ら考えてみたり、調べてみたりすることで、主体的な学びが生まれます。教員から教わるだけでなく、教わったり学習したりした内容を実際に活用して、企業事例を分析してもらいます。		
説明会：	不明な点がある場合は個別に対応します。		